

(2) まちづくりの目標と宮島町地域の位置づけ

まちづくりの目標

廿日市市は、広島大都市地域に隣接するメリットを生かしながら、高次都市機能の強化によって拠点性を高め、広域的な役割を発揮していくとともに、将来に向けて発展していくための活力や質の高い市民生活を創造し、広島県西部の自立した拠点都市として、広域的な個性と魅力を高め、周辺地域との連携を図りながら、県全体の活性化に寄与していくことが期待されています。

こうした考え方にに基づき、まちづくりの目標として「広島県西部の拠点都市」を掲げます。



豊かな自然環境と優れた歴史・文化資源を有する宮島町地域は、広島圏域の観光振興を担う大きな柱の一つとして、周辺地域と連携し、その役割を担っていくことが求められています。

また、宮島町地域は、過疎化・高齢化が進行しており、生活の利便性・快適性の向上や地域の自立に向けた取り組みなどを進め、地域の活性化を目指した定住や交流を促進していくことが必要となっています。

宮島町地域の位置づけと役割

「賑わいのある国際的な観光・交流の拠点」

広島圏域の観光施設と連携し、廿日市市の広域的な拠点機能の一部を分担するとともに、周遊型・滞在型観光ネットワークの拠点としての役割を担い、広域交流を先導する地域とします。

「豊かな自然や歴史・文化と共生するまち」

廿日市市における暮らしの多様な選択性の中で、安心と安全のもと、快適で豊かな住民生活を送ることのできる魅力ある暮らしを創造し、住民一人ひとりが生き生きとゆとりある生活を楽しみ、創造性を高めることのできる地域とします。

